

橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ①

橘町HP

<https://tachibana-net.jp>

歴史・史跡

クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和4年7月1日
責任者：前田 信俊
事務局：橘公民館 22-3884

橘氏の鎌倉から戦国期の拠点

しおみじょうあと 潮見城跡 (潮見)

●潮見城は潮見山^①に築かれた山城で、北峰と南峰に分かれています。

●1237年、橘公業^②が伊予(今の愛媛県)から肥前国長島荘に、訳があって^③移ったのが橘家の始まりで、後に渋江氏を名乗りました。

●橘公業が最初に館を構えたのが潮見神社中宮のあたりとされ、今でも「館」^④の呼称が残っています。公業は潮見山に城を築いた^⑤とされます、その時期は不明です。

●橘氏は、3代公村のとき、渋江、牛島、中村、中橋に分かれます。時を経て戦国時代、渋江氏13代公勢のときが渋江氏の全盛期でした。

●公勢が日鼓城^{ひづみじょう}の悲劇で急死した時、武雄の後藤へ養子に行っていた純明は若木の日鼓城を攻め、弟公親を追い出します。

●最後は1560年に有馬軍に攻められ落城しました。とは言え、橘渋江氏は、15代にわたり320年以上続いた家柄です。

① 潮見城跡(下図⑩)と潮見遺跡(同⑧)の場所



★印番号の解説

★①潮見城跡への入り口

潮見神社中宮から20mほど登った右手に、潮見城跡への案内看板があります。



★②鎌倉殿の13人と橘氏

・今年のNHKの大河ドラマは、大泉洋さんが源頼朝役、小泉孝太郎さんが平家最後の棟梁となる平宗盛役を演じられています。



・橘公業の父、公長は、平知盛(宗盛の弟)に属していましたが、初期の段階で頼朝方ににつきました。(⇒人間関係は裏面へ)

★③橘氏が長島荘へ来た理由とは?

壇ノ浦の戦いが終わっていよいよ北条氏の出番。理由は番組終盤で出てくるかも・・・。

★④館と潮見城

潮見川から「館」と呼ばれる場所の方向です。発掘調査の結果、橘氏の館跡とされた潮見遺跡とは離れています(左図)。伝承の「館」との関係は?



★⑤潮見城の特徴

・巨大な二重堀切、東麓まで巨大な豊堀、南側は潮見川で守る。主郭は曲輪中央に大きな石の塚がある。周囲には土塁。

(下図は木原武雄著「風雲肥前戦国武将史」を参考に作成)



★⑦鎌倉殿の13人と橋氏(肥前の関係者:赤書)

NHK 大河ドラマと佐賀県との関係、特に橋町と関係があるので、ドラマ出演者と並べてみました。

ドラマは <https://www.nhk.or.jp/kamakura13/> をご覧ください。

平家方

●平清盛(松平健)

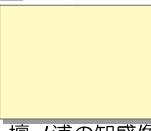
重盛=清盛長男(出演なし)

宗盛=清盛3男(小泉孝太郎)



小泉を処刑したのは私だ!わしは橋氏の祖、公業の父じゃ!

知盛=清盛4男(出演なし。壇ノ浦に碑)



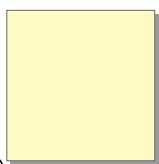
初めは知盛の配下だったが、平家を見限ってせがれと鎌倉殿についた。

重衡=清盛5男(出演なし)

・松浦水軍(肥前)

★壇ノ浦で戦った肥前の水軍

・山鹿秀遠(芦屋)



源氏方

●源頼朝(大泉洋)

行家=頼朝叔父(杉本哲太)

大泉洋さん

範頼=頼朝弟(迫田孝也)

義経=頼朝弟(菅田将暉)

・北条時政(坂東彌十郎)

義時=時政の子(小栗旬)

坂東彌十郎さんと小栗旬さん

・橋公長・公業親子(出演なし)

・三浦義村(山本耕史)

・上総広常(佐藤浩二)⇒頼朝生前に抹殺(1183年)

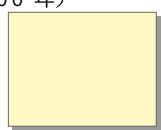
・梶原景時(中村獅童)⇒頼朝死後滅亡(1200年)

・比企能員(佐藤次郎)⇒同上(1203年)

・畠山重忠(中川大志)⇒同上(1205年)

・和田義盛(横田栄司)⇒同上(1213年)

・千葉常胤(岡本信人)⇒肥前千葉氏の先祖



岡本信人さん

今日のうんちく

★⑧鎌倉時代の城

1) 武家政権スタート時の城(平安末期から鎌倉時代)

- 14世紀の頃の城が描かれた「秋夜長物語絵巻」の合戦図では中世の城は土手、空堀を挟んで武士が甲冑を着けて戦っている。土手には狭間、逆茂木で防いでいる。
- 「源平盛衰記」では「木曾という所は窮境の城郭なり」と書かれ、地域全体を城と見ている。
- 「玉葉」には「延暦寺の衆徒 園城寺をもって城となす」として寺が城になっている。
- 「平家物語第」には「坂・道」を城として表現。

以上のことから初期の城は、地勢を含めて城としていて建造物はまだない。また、戦いそのものも数名から数十人程度のものを「いくさ」としている。 ⇒城の概念としては曖昧な段階

2) 山城の成長期(南北朝時代・室町時代)

- 山城に、城郭を壁で覆う等の構造物が出現し、城郭内に建築物が作られ始める。
- 防御施設が発達、「切岸(壁面を人工的に削り取った面)」など土木造成が山城に施されてくる。
- 九州では南北朝時代に数多くの山城が造られたので、現在でもかなりの数が残っている。

(佐賀大学地域連携型公開講座 全学教育機構教授 宮武正登氏講演より)



今回のご紹介した遺跡は『鎌倉時代』のものでした

時代区分	鎌倉時代		南北朝時代		室町時代	戦国時代	江戸時代		明治時代
新・ふるさと歴史散歩記載項目	鎌倉幕府成立。守護地頭による地方支配、橋氏の入部	元寇襲来と警備、恩賞要求と幕府の弱体化、少弐・大友の探題攻撃	建武の新政 南北朝時代と九州3つ巴の動乱の時代へ	室町幕府成立 応仁の乱、竜造寺の台頭	信長から秀吉へ。竜造寺勢力拡大と島原敗死。文禄・慶長の役	江戸幕府成立 佐賀藩は鍋島体制へ 佐賀本藩へ3部上地2度	江戸幕府安定政権、長崎警護とフェートン号事件、尊王攘夷へ	戊辰戦争と明治維新、近代化と殖産振興	
主な市内遺跡 赤書は橋町	潮見城跡と館跡、潮見・山下・小野原・馬場・立岩等の中世遺跡 源頼朝御教書	潮見川開削と河童誓文石、渋江・中村・中橋氏館跡 塚崎庄が長島庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、渋江vs後藤。塚崎庄拡大、武雄社、黒尾社	渋江勢力拡大と日鼓城の悲劇、後藤が渋江攻略	潮見譲落城と鉄砲・丹宗堀 後藤が竜造寺配下に 肥前古窯跡と古武雄	三法方郷(橋は本藩・蓮池・後藤領) 鳴瀬宿と御狩場、長崎街道南部系窯跡	上野本窯・皿山窯跡 後藤鍋島藩の蘭書、大庖等 北方炭鉱	上野新・形右衛門・鳴瀬窯跡、 椎崎炭鉱 鉄道開通	